

高校生が県産品 PR のために開発

# かつりんとう・フラムーネ

より安心安全な商品を



▲あんも皮にもいちごを使った「どらいちご」と、いちごチョコのかかった「焼きドーナツ」は今年も販売予定です。



▲ラベルの可愛いフラガールのイラストは、校内でコンテストを実施して決まりました。

いわき市の県立平商業高校流通ビジネス科では、平成20年度から県産品を使った商品の開発・販売に取り組んでいます。平成22年度に誕生した『かつりんとう』は、震災後は宮城県産を使用していましたが、今年



左から  
志賀 裕美さん・高野 賢司 教諭・佐藤 実紀さん  
(流通ビジネス科3年)

度はいわきに水揚げされたかつおで再び製造することができました。「かつおとかりんとう」は意外な組み合わせですが、生徒たちから出たアイディアはとりあえず試してみようというのがきっかけでした」と高野教諭。生のかつおと製品の段階で、いわき明星大の協力を得て生徒自らの手で放射性物質検査を実施し、安全性も確認済み。おから・ごま・かつおのすり身を練り込んだ甘さ控え目のかりんとうは消費者の評判も上々で、今年度分はすでに完売しています。

平成23年度に開発された『フラムーネ』は、フラガールの街+ラムネから生まれたネーミング。いわきを代表する観光スポット・スパリゾートハワイアンズをほうふつさせるブルーハワイ味と、いわき市の特産品である梨風味の2種類があります。道の駅よつくら港で通年販売されており、同所で行う販売実習では消費者の声をじかに聞くことができ、生徒たちの活動の励みになっています。

▼販売実習で、消費者の反応をじかに知ることができました



▲生徒自らかつおの買い付けにも行きました